

令和7年度全国学力・学習状況調査結果（概要）

1 教科に関する調査より

（1）国語

平均正答率は、兵庫県及び全国平均とほぼ同程度です。「思考・判断・表現」に関する問題の正答率が兵庫県及び全国平均を上回っており、特に「話すこと・聞くこと」についての問題のうち、自分の考えを分かりやすく伝えるための表現や話の構成の工夫についての問題での正答率が高くなっています。一方で、自分の考えをまとめたり、読み手の立場に立って文章を整えたりする力を身に付けさせることが課題となっています。

（2）数学

平均正答率は、兵庫県及び全国平均を上回っています。「知識・技能」に関する問題のうち、「図形」について、多角形の外角を求める問題や、証明された事柄を基に新たに分かる関係を見いだす問題、「一次関数」について、変化の割合を基に増加量を求める問題の正答率が、兵庫県及び全国平均を大きく上回っています。一方で、式の意味を読み取り、成り立つ事柄を数学的な表現を用いて説明する力を身に付けさせることが課題となっています。

（3）理科

平均正答率は、兵庫県及び全国平均とほぼ同程度です。「知識・技能」に関する問題のうち、気体の性質に関する知識が概念として身に付いているかどうかをみる問題、収集する資料や情報の信頼性についての知識及び技能が身に付いているかどうかをみる問題、実験器具の操作等に関する技能が身に付いているかどうかをみる問題の正答率が高くなっています。一方で、予想される実験の結果などを適切に説明する力を身に付けさせることが課題となっています。

2 生活習慣や学習環境等に関する質問調査より

◇ 優れているところ

- ・ 朝食を毎日食べている生徒や、毎日同じくらいの時刻に就寝している生徒の割合が兵庫県及び全国平均よりも高く、基本的な生活習慣が確立されています。
- ・ 自分には、よいところがあると思っている生徒の割合が兵庫県及び全国平均を大きく上回っています。
- ・ 先生は、自分のよいところを認めてくれていると感じている生徒の割合が兵庫県及び全国平均よりも高くなっています。
- ・ 人が困っているときは、進んで助けていると回答した生徒の割合が兵庫県及び全国平均を大きく上回っています。
- ・ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思える生徒の割合が兵庫県及び全国平均よりも高くなっています。
- ・ 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できると回答した生徒の割合が兵庫県及び全国平均よりも高くなっています。

- ・ 学校に行くのが楽しいと感じている生徒の割合が兵庫県及び全国平均を大きく上回っています。
- ・ 友達関係に満足し、普段の生活の中で幸せを感じている生徒の割合が兵庫県及び全国平均を大きく上回っています。
- ・ 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていると回答した生徒の割合が兵庫県及び全国平均よりも高くなっています。
- ・ 授業や学校生活では、友達や周りの考えを大切にして、お互いに協力しながら問題の解決に取り組んでいる生徒の割合が兵庫県及び全国平均よりも高くなっています。

◆ 課題とされるところ

- ・ 平日、土日ともに学校の授業時間以外に学習している時間が、兵庫県及び全国平均よりも少なくなっています。
- ・ 読書が好きだと回答した生徒の割合が、兵庫県及び全国平均よりも少なくなっています。

3 今後の取組

教科に関する調査結果から、自分の考えをまとめたり説明したりする力を身に付けさせることが課題となっています。このことを踏まえ、各教科の授業においては、主体的・対話的で深い学びのさらなる充実を図ってまいります。

質問調査の結果から、学校に行くのが楽しいと感じている生徒や、友達関係に満足している生徒が兵庫県及び全国平均を大きく上回っているほか、周囲との関係性や接し方に関する項目が高くなっており、このような生徒の意識を大切にして、生徒同士が互いに高め合い、支え合い、認め合えるようなあたたかい学校づくりを引き続き推進してまいります。

また、教育活動全般における様々な経験を通して、生徒一人一人が自分のよさや可能性を認識し、自己肯定感や自己有用感を高めることにより、将来の夢や目標を持って自ら主体的に行動できる生徒の育成に努めてまいります。

今後も、学校と保護者が互いに連携しながら、生徒の健全育成に努めてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。